



全力疾走

第1学年 学年だより
2月号
令和7年2月3日(月)



いよいよ春の訪れです



今年の立春は例年より1日ずれ、2月3日になるので、節分が2月2日になります。節分や立春は季節の分岐点なので、暦の上では2025年の春がいよいよやってきました。春は、「出会いと別れの季節」といわれます。残り1ヶ月と少しで3年生は卒業となります。1年生は、現在、2月末に行われる「3年生を送る会」に向け、発表の準備をしています。「3年生を送る会」という行事は、3年生のために頑張ることはもちろんのこと、この必ず来る別れに対して「きちんと向き合うこと」や、「どのように送り出すのか」を考えることのできる貴重な行事です。この1年間のことを振り返りながら、精一杯準備をし、卒業生、在校生ともに感動の涙あふれる行事にできればと思います。

さて、春といえば改めて進級の季節でもあります。特に、2月、3月については「2年生」になる前の貴重な準備期間です。「2年生」は3年間の中で、中身の濃い1年となります。そのような1年間を、この学年の生徒全員が、それぞれの立場で活躍できるよう、一人一人に準備をしてほしいので、御家庭でも、特に「規則正しい生活」や「家庭学習の習慣化」を改めて確認していただければ幸いです。

「学習面」「生活面」の両方の面で、学年職員一同も支援していきたいと思ひます。

第1学年主任 藏本 淳哉

職場インタビューを終えて

冬休み中、保護者の皆様には御負担をおかけいたしました。キャリア教育の一環として、職業インタビューを全員行うことができました。キャリア教育を進めていく中で、現在働いている方の「生の声」は生徒に最も響くものです。それぞれの生徒がインタビューを通して何を感じたのかを紹介したいと思います。

自分が大人になるまでに、様々なことに挑戦したいと思った。 A組	このインタビューで様々な話を通して、将来の職業選択をする上で、参考にしたいと思った。 B組
早めに自分が将来なりたい職業について考えていきたいと思った。 A組	「自分がやりたいことに、積極的に挑戦してほしい」というアドバイスを参考にしたいと思った。 B組
働くことは、大変なこともあるけれど、感謝されるような仕事にはやりがいがあるのだと感じた。 A組	様々な仕事があるけれど、最終的には自分がやりたいと思う仕事に得があると思った。 B組
働くことはとても大変なことだとわかった。長く続けられるような仕事(職業)に就きたいと思った。 A組	自分の身近な人の仕事、自分が今通っている学校にとってとても大切な仕事であることに気づけた。 B組

伝統芸能ふれあい体験がありました。

1月27日（月）に「伝統芸能ふれあい体験」として「能楽」の体験学習がありました。なかなか人生の中で、伝統文化に触れ合う機会は少ないので、今回のような体験ができたことはとてもありがたいと感じました。ぜひ、この経験によって生徒たちの視野が広がってくれればと思います。

＜感想＞

私は「笛」を体験しましたが、とても難しくこんなに音が出ないとは思いませんでした。 A組	「能面」を体験してみて、視界がとても狭く、歩くだけでも大変だということがわかりました。 B組
「小鼓」を体験し、持ち方がとても難しく、たたいても大きな音を出すことがなかなかできなかった。 A組	「仕舞」を体験してみて、扇子の持ち方や歩く速さなど、細かいところまで考えられていることにとても驚きました。 B組

＜活動の様子＞



お知らせ

- (1) 2月のバス時刻表を発行しました。2月は、行事の準備や短縮日課が多くあります。普段より、気をつけて下校時刻を確認してください。
- (2) 1月25日（土）に本校職員の今別府教諭が、拳式しました。今後ともよろしくお願いたします。
- (3) 送迎はバスロータリーでお願いいたします。但し、ケガ等の事情がある場合は担任に御相談ください。